

令和8年度 音楽科第1学年 年間指導計画・評価基準・評価方法

月	題材名	時数	教材名	第1観点	第2観点	第3観点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	思いを込めて楽しく歌おう 【表現：歌唱】	3	「校歌」 「夢の翼」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。創意工夫を生かした表現で「光の道」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。	音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
5	曲の形式を捉えながら鑑賞しよう。【鑑賞】	2	「春」	曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。	音色、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「春」のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、独奏ヴァイオリンと弦楽合奏の音色や響きに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
6	構成を工夫して、音楽をつくろう【創作】	2	「池の雨」	創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
7	曲の形式を生かして歌おう 【表現：歌唱】	4	「夏の思い出」 指揮をしてみよう 合唱曲	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。	リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
9 10	歌詞や曲想、声部の役割を生かして混声合唱を創り上げよう 【表現：歌唱】	10	合唱曲	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
10	曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう【歌唱】	2	「赤とんぼ」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。	リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
11 12	ギターの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう 【表現：器楽】	6	「よるこびのうた」	ギターの音色と奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした表現をするために必要な右手の使い方や左手の運指などの技能を身に付けている。	音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。	ギターの音色と奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。
	曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう 郷土のさまざまな民謡を味わいながら鑑賞しよう 【鑑賞】	4	「魔王」 「郷土のさまざまな民謡」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「魔王」のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1	箏曲の多様な表現を鑑賞しよう【鑑賞】	2	箏曲「六段の調」	曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。	音色、速度、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「六段の調」のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりや箏曲の特徴とその背景となる我が国の文化や歴史に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
	わが国やアジア地域、多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう【鑑賞】	2	日本とアジアの声によるさまざまな表現	音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
2 3	言葉の特徴を捉えて音楽を構成しよう【創作】	3	全体の構成を考えながら音楽をつくろう	音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対象などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。	音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している。	音素材の特徴を生かして構成を工夫することに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。
	曲想を味わいながら、合わせて歌おう 【表現：歌唱】	5	合唱曲	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
	評価方法			観察、定期考査、ワークシート、実技テスト	定期考査、ワークシート、自己評価シート	観察、ワークシート、自己評価シート